

全国国際教育協会

# グローバル教育新聞

Vol.4



写真① 昼寝している南極のペンギンの子供

南極はどの国にも属さないとすれば、どの国の法律が適用されるのでしょうか。道路交通法や民法、商法など、南極地域で通用されるものはあるのでしょうか。

## 南極の人々の法律は？

「南極」は正確には「南極地域」と言います。1959年に米、英、仏、ソ等、日本など12か国は南極条約を採択、1960年に批准しており、領土権など基本的立場の違いはあるものの、対立を表面化させずに共通の関心事項について対処するよう努めています。一部の領土を主張する国もありますが、どの国にも属さない地域と考えられ、現在は47カ国が締結しています。

前号に引き続き、南極を素材にしていろいろ考えてみたいと思います。

考える

南極から「国家」について

## 南極から考える グローバル教育

稿の2  
寄そ

全国国際教育協会 高橋博文

「国」って何だろう？



## 船の中はどの国の法律？

例えば、海外の船で南極に立ち入る場合、様々な国籍の人々が船に乗りこみます。この場合、その船の南極での活動を許可した国がアメリカ合衆国であれば、その乗客は船の乗客である間はアメリカの法律を順守しなくてはなりません。また、その旨を日本の環境省に届出しなくてはなりません。



写真② アメリカが運行許可を出している船の中ではアメリカの法律が適用



全国国際教育協会 Japan Association for Global Education (JAGE)

<http://www.kokusaiken.org/npo/>

E-MAIL [webinfo@kokusaiken.org](mailto:webinfo@kokusaiken.org)

**南極に資源はあるの？**

南極ではクジラ、アザラシの漁や、鉱物資源が採掘できる可能性もあり、資源の鉱脈が見つかることと領有権を主張する国が出てくることも考えられます。こうした資源をめぐる国家間の争いを避けるためにも、南極条約や南極条約議定書は意義があるのです。

**「南極条約議定書」って何のためのもの？**

南極の環境保護を目的とした「南極条約議定書」が1991年



写真③ アザラシやペンギンが自然のまま生活している



写真④ 南極条約議定書は環境保護を目的としたもの

日本の南極観測船について…初代「宗谷」、二代目「ふじ」、三代目「しらせ」、四代目が今年着任し、そのネーミングコンテストの結果「しらせ」が多数の応募を占め、結局「しらせ」となりました。初代の「宗谷」や二代目の「ふじ」は博物館で展示されています。特に初代の「宗谷」はタロ・ジロの南極犬の話で有名となりました。南極観測船は海上自衛隊に所属する自衛艦で、南極の昭和基地に物資を供給しています。

**南極観測船 四代目「しらせ」**

南極にはアルゼンチン・チリから回って入るコースが全体の9割を占めます。



写真⑤ 南極の夏の太陽

**南極に行くには 環境大臣に届出が必要**

これらの法律を順守して、南極に日本の人がいく場合は環境大臣への届出が必要となります。南緯60度より南に行くには事前に届出書を環境省に提出する必要があります。

**日本の活動は？**

日本も南極に昭和基地を置いて観測・研究目的で継続して活動しています。私は南米側の南極に到着しましたが、昭和基地はほぼ180度南極大陸の反対側のニュージーランド側に位置します。昭和基地には観測目的でないと行くことはできません。観光ではほとんど行けません。南極にはアルゼンチン・チリから回って入るコースが全体の9割を占めます。

**「夏隊」と「越冬隊」**

南極地域観測隊には「夏隊」と「越冬隊」があります。「夏隊」は日本の冬の季節に派遣される観測隊で、太陽がなかなか沈まない白夜が見られます。「越冬隊」は逆に日本の夏に派遣される観測隊で、けっこう真っ暗な時間が長く続きます。

南極の昭和基地の気温は夏で平均マインス10度くらい、氷がなく地表があらわになっているところも結構あります。私が上陸した夏の海岸では、気温が2度くらいでした。

**全国国際教育協会**

Japan Association for Global Education (JAGE)

<http://www.kokusaiken.org/npo/>

E-MAIL [webinfo@kokusaiken.org](mailto:webinfo@kokusaiken.org)





写真⑥ 南極ではゴミの持ち込み厳禁

南極では寒くて微生物があまり生息していないので、ゴミが分解されず、ずっとそのままであったりします。南極大陸全体が巨大な冷蔵庫のようなものです。

### 南極は「ゴミ」厳禁

### 南極の人口は？

### 南極の自然の住民たち

滞在人口は夏季40000人程度、冬季10000人程度だそうです。面積は1400万平方キロメートル（隣接諸島を含めた陸地面積、日本の378倍）なので、人口密度は天文学的に低いです。

南極のペンギンの営巣地にはペンギンの他にカモメもたくさんいました。トウゾクカモメと呼ばれる猛禽類の肉食のカモメもいる一方で、ペンギンのひなを食べたりするそうです。



写真⑦ ペンギンの営巣地には海鳥もたくさんいました。

写真⑦のように、ペンギンとカモメはなんとなく日本のハトとスズメの関係のようでしたが、たまにペンギンのひながカモメを追いかけまわしたりしていました。



写真⑨ 眠っているペンギンを正面から見たもの

南極には8種類のペンギンがいて、皇帝ペンギンは氷の上を歩いていて、岩場を歩くことはあまりありません。岩場を歩いているのはジェントウペンギンやアデリーペンギン、ヒゲペンギンです。ペンギンの足をよく見ると、結構ワイルドです。



写真⑧ カモメをじっと見るペンギン親子



全国国際教育協会 Japan Association for Global Education (JAGE)

<http://www.kokusaiken.org/npo/>

E-MAIL [webinfo@kokusaiken.org](mailto:webinfo@kokusaiken.org)

ザトウクジラとミンククジラなどもよく泳いでいるのを見かけました。  
南極の岩にはマリモの仲間のようなものが生えていて、藻類や地衣類がいるようです。

◆◆◆◆◆  
**原始の地球を残す  
太古の大陸・南極**

南極は何億年も変わらず、地球の原始の姿を残している貴重な存在だと思います。  
人間がほとんどおらず、巨大な冷蔵庫のように原生の動物がそのままの姿で生態を残しています。地球が人格を持っているとすれば、南極の大自然が本来の自分の姿で、我々の身の回りこそが、人間の化粧で塗られた姿かも知れませんね。

全国国際教育協会の写真素材は「グローバル教育・フォトライブラリー」として、教育に役立てたいと考えておりますので、関心ある方はE-MAILでご連絡ください。

**ODAインターネットテレビ**

<http://www.apic.or.jp/plaza/tv/>



財団法人国際協力推進協会が運営している国際協力プラザWEBサイトでは、海外での国際協力の様子を映像で紹介する「ODAインターネットテレビ」が配信されています。学校でのグローバル教育に、ぜひご活用ください。



総合的な学習の時間を利用しての開発教育の実践のために、東京都国際教育研究協議会（旧名称：東京都高等学校国際教育研究協議会、すべての生徒に対応するため高等学校をとりました。）は新課程「総合的な学習」の時間に開発教育や国際理解教育を教えるために、相互理解、異文化理解、多様性、意思伝達、国際協力、自然環境等の観点から教授用展開例を満載した書籍

**総合的な学習にも使える  
「国際理解教育（地球学習）」**

を出版いたしました。

インターネットの活用なども詳細に説明してあります。この展開例を参考にグローバル教育・開発教育を進めて頂きたいと思えます。

A5判 240ページ 1800円  
出版社 清水書院 ISBN4-389-22543-X  
〒162-0813  
東京都新宿区東五軒町1-11  
TEL03-3260-5261 FAX 03-3260-5270



**全国国際教育協会** Japan Association for Global Education (JAGE)

<http://www.kokusaiken.org/npo/>

E-MAIL [webinfo@kokusaiken.org](mailto:webinfo@kokusaiken.org)